1202-4

12 月 2 日 15:45-16:15（日本時間 23:45-0:15）

“Agility: value creation, committed teams, involved customers, proven results! Even for a hardware product?”

（敏捷性：価値の創造、献身的なチーム、関与する顧客、実証済みの結果！ハードウェア製品でも？）

講演者：Patrick Vergnot、Marie Heurtel（Latécoère）

会社概要

・旅客機や貨物機用ドアの製造、機体部品、相互接続システム関連などの会社で、トゥールーズに本社を置き、フランス以外イギリス、ドイツ、チェコ、ブルガリア、モロッコ、チュニジア、カナダ、メキシコ、アメリカ、ブラジル、インドおよび日本で展開している。

・ラテコエールの Innovation Dept.ではドアやラックの他、3D プリンティングや WiFi、また Production 4.0 関連の研究も行っている。

・航空機用のドアの開発について最近のプ ASGARD プロジェクトを取り上げた。目標とし 2 年で完成、最大限の価値、コスト低減を得るとし、従来の方法とは違い Agile Methodologies（アジャイル手法）を使い開発時間を大幅に削減した。追記すると、ソフトウェア開発業界においては、少人数のチームで行う適応的（アジャイル）手法は既に見られていた。

・2017 年に新しい Director が Innovation Dept.に配属され、ASGARD プロジェクトを遂行した。担当チームは Agility につき研究を行い、納期の短縮を行い将来的なプログラムにも採用し、顧客への付加価値を変化に合わせて高める活動を行い、プロジェクトには顧客も参加した。早い段階での顧客からのフィードバックを取入れている。

・小人数であるがチームは毎日 15 分間のミーティングを行い、スプリント（時間枠）を設ける事により進捗状況を見て、更に次の 2 週間の活動を話合う事を続け、常に活動の評価、実証と顧客よりのフィードバックを行い、どこを中期的にやっていかなければならないのかをレビューした。最初の木製デモンストレータの開発内容は 6 週間で決めた。

・チームには様々な分野よりからの人、開発の障害を取除くスクラムマスター、およびストーリー（要求事項）を管理するプロダクトオーナーがいる。要求事項のリストであるプロダクトバックログの見直しを常に行う。

・MVP (Minimum Viable Product)を 2018 年 7 月より MVP 1 (wooden mockup)から進め、ステップ

毎に改良を行い、MVP 5 (digital mockup)を 2020 年の 9 月に出し、最終的な顧客への納入は 2021 年 10 月を予定しる。18 か月の活動後、パリエアショー2019 においてInnovative PAX door を展示した。新型

ドアは、古いシステムを廃止しドアのリフトシステムを無くした。これによりドアの開閉が容易くなった。これまでは新規ドアの導入には 4 年ほど掛かるものであったが、2 年で完成に向かって計画を進めている。

・アジャイル手法を使えば、チームとしても、また顧客としてもうまくやっていける。初めは社内や業界での認知・紹介に時間が掛かったが、この手法にて担当者間の信頼感を醸成し、また権限委譲を行う活動を行った事で、結果コストも下がった。よって、他の会社もこの手法を採用する事を希望する。